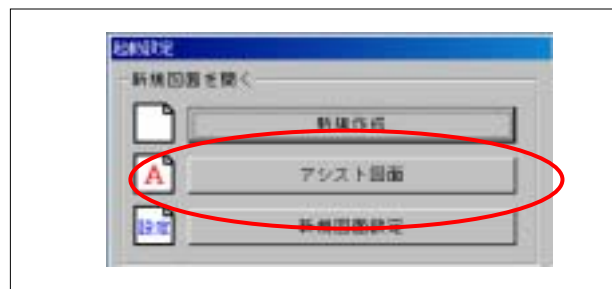


CAD 製図基準アシスト操作方法

「CAD 製図基準アシスト」は CAD 製図基準(案)に従った図面を新規に描く際に用いるオプションソフトです。
CAD 製図基準(案)に則ったレイヤ名、線種、線色、線幅がすでに設定されている雛形図面(アシスト図面)を読み込み、操作を行います。

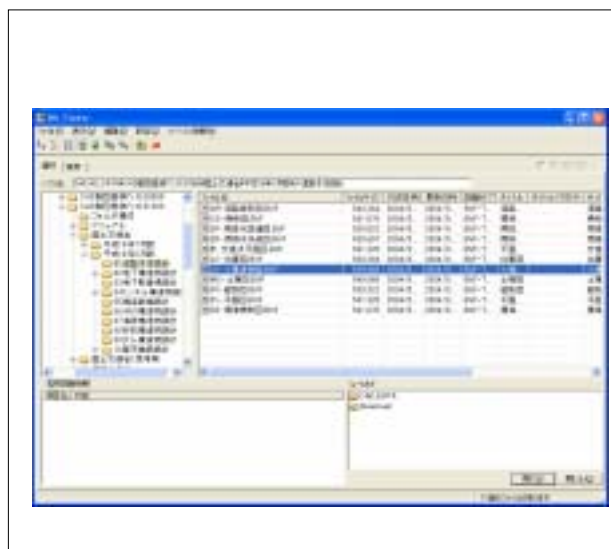
アシスト図面を開きます

[ツール]-[起動ダイアログ]で「起動設定」画面を表示します。「アシスト図面」ボタンを押し、アシスト図面を読み込みます。



アシスト図面を選択します

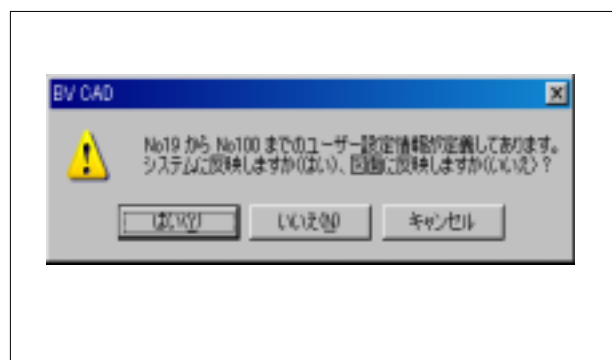
「BV Finder」が起動します。工事に該当するアシスト図面を選択し、[OK]をクリックします。
例として「LS-小構造物図.BVF」を選択します。



メッセージが表示されます

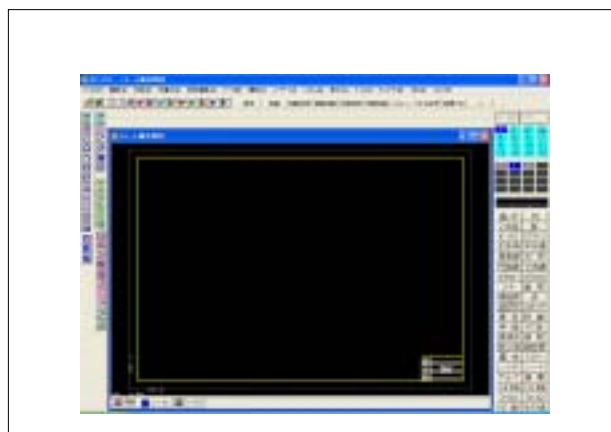
アシスト図面を読み込むと右図のメッセージが表示されます。ユーザーファンクション設定をどこに反映させるかの画面です。

「はい」を押すと CAD システムに反映されます。
「いいえ」を押すとこれから描く図面に反映されます。複数図面を操作する場合は、「いいえ」を選択してください。
「キャンセル」を押すと図面ごとに設定されたユーザーファンクション設定内容は読み込まれず、すでに反映されているシステムの内容を有効にします。
今回は「いいえ」を押してください。



アシスト図面が表示されます

図枠、表題欄の表示方法については、「図枠・表題欄の表示方法」を参照してください。



レイヤ構成を確認します

「レイヤ」 - 「一覧操作」でレイヤ構成を確認します。
すでにレイヤ名等の情報が入力済みです。

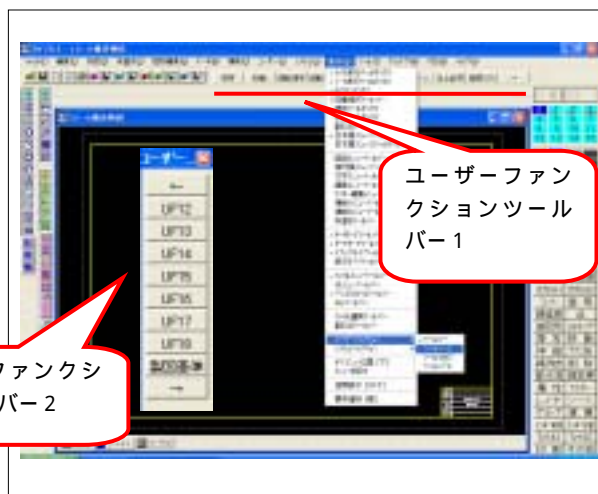


ユーザーファンクションバーを表示させます

「表示」 - 「ユーザーファンクション」 - 「ツールバー 2」をクリックします。

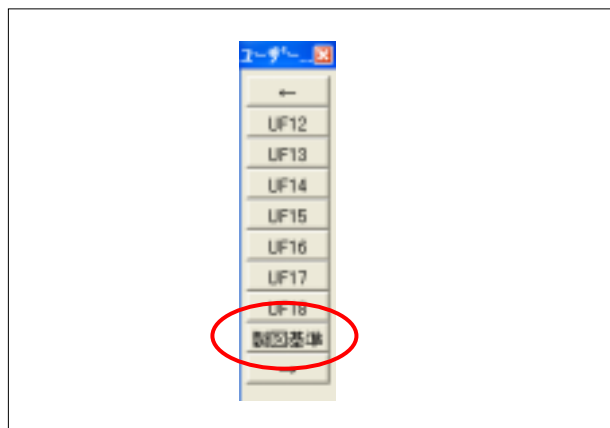
「ユーザーファンクションツールバー 2」を表示させます。
ツールバーの右下をドラッグさせて左下に移動し、形を縦長に変形させてください。

「ユーザーファンクションツールバー 1」をドラッグして移動し、同様に縦長に変形させてください。



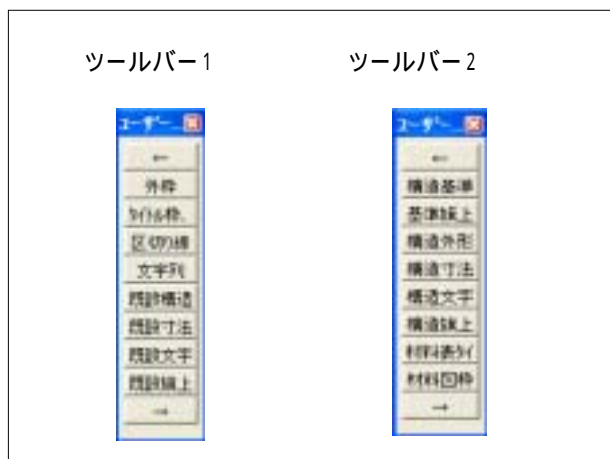
「製図基準」ボタンを押します

「ユーザーファンクションツールバー 2」にある「製図基準」ボタンを押します。



ユーザーファンクションのボタン名が変更されます。

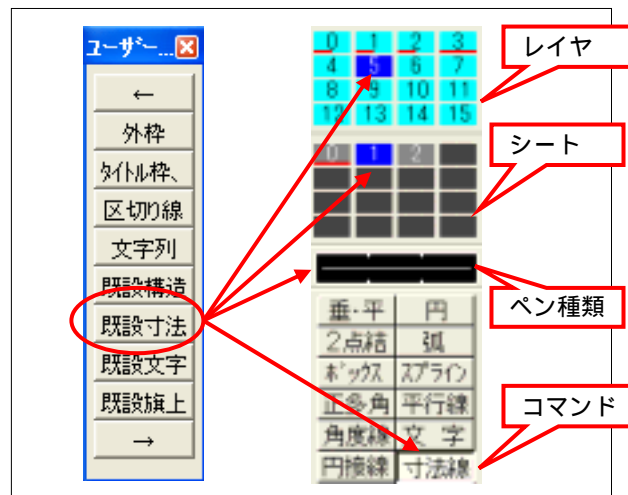
「ユーザーファンクションツールバー 1 (以下ツールバー 1)」と「ユーザーファンクションツールバー 2 (以下ツールバー 2)」のメニューが変わります。



ユーザーファンクションのメニューを押します

メニューを押すことにより、レイヤ、シート、ペン種類が自動設定されます。

[**寸法]、[**旗上]、[**文字]といったユーザーファンクションメニューを選択すると、自動的に「寸法線」や「文字」といったコマンドも同時に選択されます。



小構造物を作図します。

[シート] [一覧操作]をクリックします。

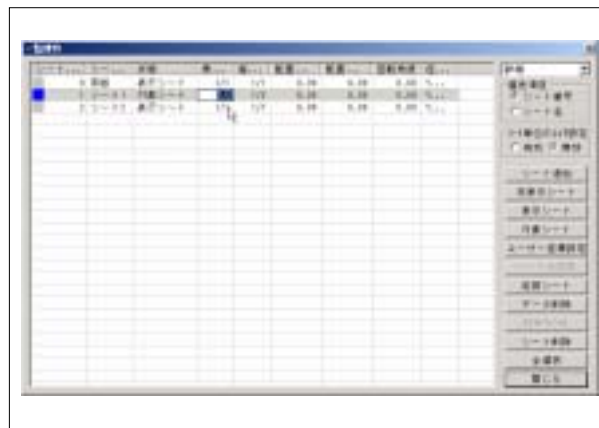
シート1をクリックします。

「対象シート」ボタンを押し、対象シートとします。

横縮尺の数字をクリックし「1/2」と入力します。

縦縮尺も同様に入力します。

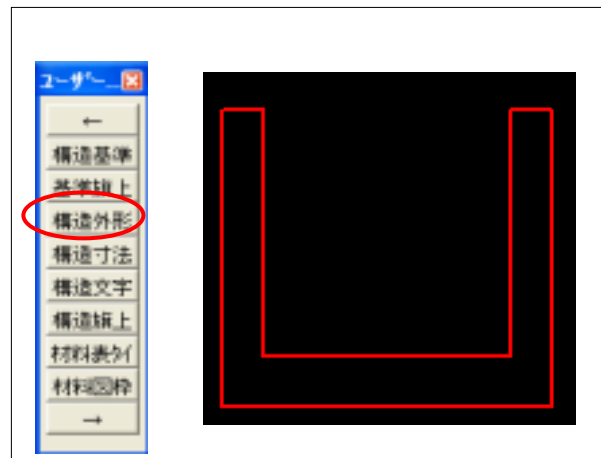
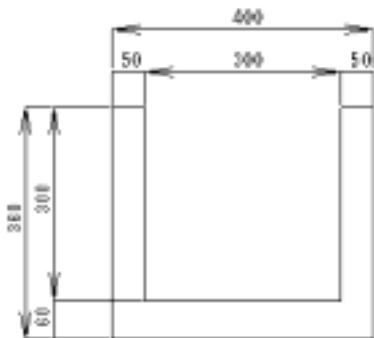
「閉じる」ボタンを押します。



構造外形図を描きます

「ツールバー2」-「構造外形」ボタンを押します。

下図の寸法で構造外形線を描きます。



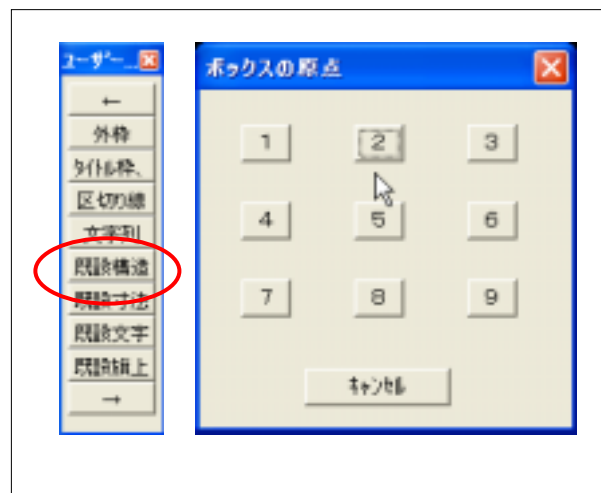
既設構造物を描きます1

「ツールバー1」-「既設構造」ボタンを押します。

日本語メニューボックスの「ボックス」コマンドを押します。

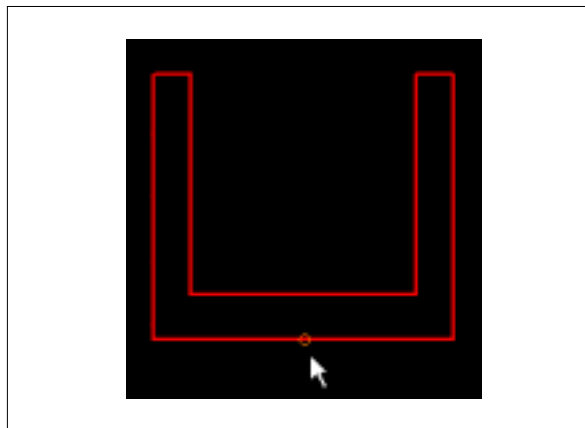
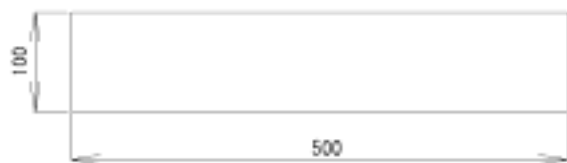
サブメニュー欄の「10Key」を押します。

この時原点設定が必要となるので、「原点設定」ボタンを押して、原点を2番(中上)に設定します。



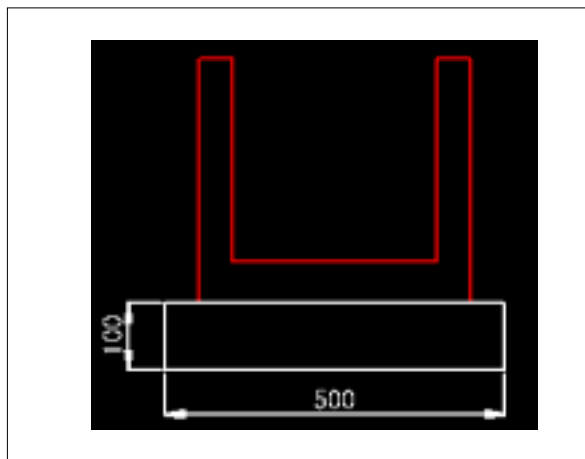
既設構造物を描きます2

原点を左図の位置でとります (Shift+右クリック)。
下図の様に数値を入力します。



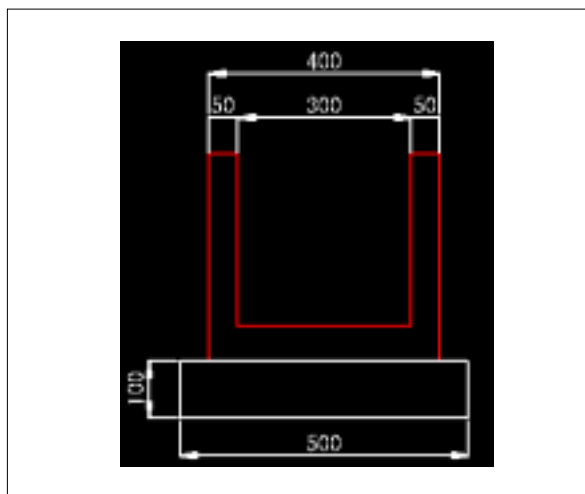
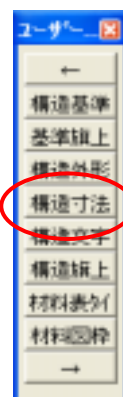
寸法線を記入します1

「メニュー1」の「既設寸法」ボタンを押し、既設構造物に寸法線を記入します。



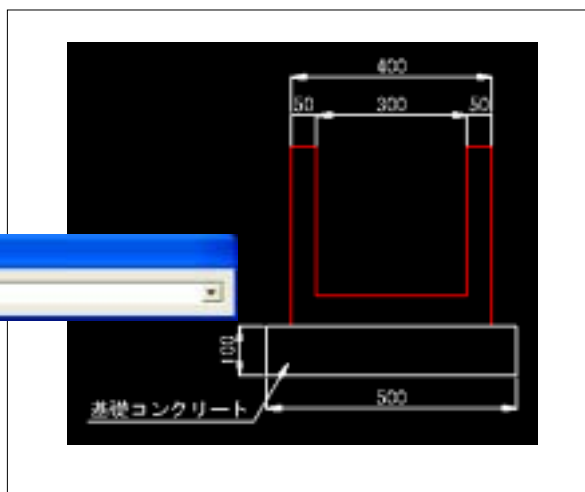
寸法線を記入します2

「メニュー2」の「構造寸法」ボタンを押し、構造外形図に寸法線を記入します。



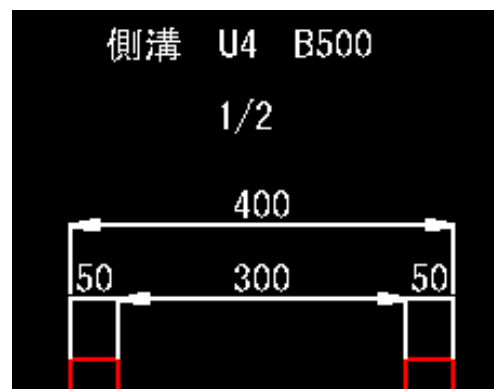
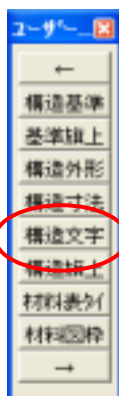
「メニュー1」の「既設旗上」ボタンを押し、既設構造物に旗上げを記入します。

「基礎コンクリート」と入力します。



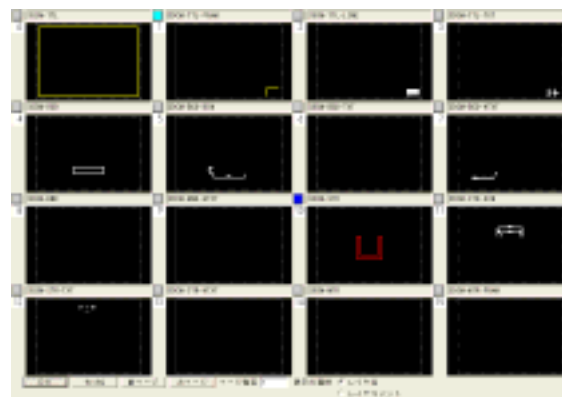
文字を記入します

「メニュー2」の「構造文字」ボタンを押し、右図のように記入します。



一括操作で確認します

[レイヤ] - [一括操作]をクリックします。
レイヤ毎に描かれていることを確認します。



終了します

[ファイル] - [名前を付けて保存]をクリックし、「ファイル名」欄に名前を付けて[保存]ボタンを押します。



電子納品時はSXFファイル形式で保存します。
[ファイル]-[外部出力]-[SXF]をクリックします。
「ファイルの種類(SFC または P21)」を選択し、保存します。

